

[連載] 第39回 清々しき人々 月尾嘉男 (東京大学名誉教授・工学博士)

一九世紀に一人で世界を旅行した

イザベラ・バード



イザベラ・バード (1831-1904)

女性が活躍するイギリス

日本には過去に何人かの女性天皇が存在しましたが、現在は女性天皇や女系天皇の可否が議論されています。一方、イギリスの国王エリザベス二世は一九五二年に二六歳で即位され今年で在位六八年になります。九四歳の現在でも健在です。これはイギリスの伝統で、チューダー王朝の五代国王エリザベス一世も一五五八年に二五歳で即位し、四五年間も君臨されました。「自分は国家と結婚した」という有名な言葉のように生涯独身でした。

同様に長期に君臨したのがハノーヴァー王朝六代国王のヴィクトリア女王です。一八三七年に弱冠一八歳で即位し、八二歳で逝去する一九〇一年まで六五年間も在位されました。在位の期間は太陽が沈下することのない国家といわれた大英帝国の全盛時代であり、西側は西経一四一度のカナダ西岸から、ロンドン郊外のグリニッジにある〇度の子午線を通して、東側は西経一七〇度のニューギランド東岸まで領土を保有していました。現在では、その栄光の大国の威光は衰微したものの、規制緩和を推進したM・サッチャー首相、実現できなかったもののE.U離脱に奮闘したT・メイ首相

病弱で何度も転地療養

など女性の物が登場しています。それらの活動とは異質ですが、イギリス女性の強靱な精神を發揮した人物が今回紹介するイザベラ・バードです。まだ大英帝国の威令が世界に浸透していた一九世紀後半に各地の発展途上諸国を単独で旅行し、貴重な記録を執筆した女性です。

バードは一八三一年にイングランド北部のヨークシャーで二人姉妹の長女として誕生しました。ケンブリッジ大学を卒業した父親はインドのカルカッタで法曹関係の仕事から牧師になった。バードですが、最初の夫がインドで死亡したため、姉妹の母親は再婚した牧師の家庭出身のドラでした。バードは幼少時代から病弱であり、一九歳のときに手術を経験しています。そこで転地療養のため、夏季はスコットランドで生活していました。

さらには一八五四年にはアメリカとカナダに転地療養をしますが、そのときの経験を最初の旅行日記「アメリカでの英国女性」(一八五六)という書籍で発表しています。一八五七年には再度、療養目的でアメリカに旅行し、翌春に帰国しますが、直後

ロッキーマウンテンでの冒険

に父親が病死したため、母親と姉妹はスコットランドの首都エディンバラに移転します。しかし、さらなる不幸が襲来し、バードが三五歳になった一八六六年には母親も病死してしまっただけです。

そのような精神の負担も影響して体調が回復しないため、バードは医師の指導により一八七二年七月にオーストラリアへ出発します。しかしそこには二ヶ月間滞在しただけでニューギランドに移動し、翌年正月に汽船に乗船してハワイ諸島経由でサンフランシスコを目指します。ところが船内で肺病になった青年がハワイ諸島で治療することになり、その母親の依頼で青年を看病するために約半年間、ハワイ諸島に滞在することになります。

ここでバードはハワイ島にあるハワイ諸島最高峰のマウナ・ケア(四二〇五メートル)と次峰のマウナ・ロア(四一七〇メートル)に登山するなど、太平洋上の自然を満喫し、その様子をスコットランドの離島で生活する妹のヘンリエッタに何通もの手紙で連絡しています。これ

らの手紙は丁寧な保管され、バードが旅行記録を出版するときの基礎となっています。後述する「日本奥地紀行」も親密な妹への多数の手紙が役立っています。八月に手紙で半年以上生活したハワイ諸島を出発し、サンフランシスコを経由して当初の目的であったロッキーマウンテンを目指します。ワイオミングのシャイアンまでは開通したばかりの大陸横断鉄道を利用しますが、以後は乗馬や馬車で最初にロングモンントに到着、そこから登山の拠点となっているエステス・パークを目指します。その途中で出会ったのが「マウンテン・ジム」という名前有名な「スノー・ジェント」という四〇歳代の男性でした。

標高二三〇〇メートルのエステス・パークから乗馬で標高四四八五メートルのロングス・ピークの頂上を目指しますが、案内をしてくれたのがスノー・ジェントでした。途中でキャンプをして一泊し、翌日、頂上を目指して絶景を堪能します。帰路には往路にキャンプをした場所で焚火をしながらスノー・ジェントと夜明けまで談話をしますが、それ以上の関係はなりません。この旅行は「ロッキーマウンテンでの生活」(一八七九)として出版されています(図1)。

日本の情報入手

一八七四年に帰国したバードは一人でエディンバラに生活しますが、その時期にスコットランド出身でイギリス政府の要職

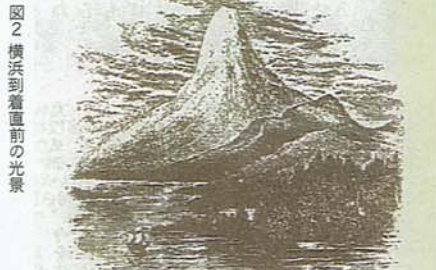


図1 バードが滞在したロッキーマウンテンの小島

図2 横浜到着直前の光景

図3 伊藤鷄吉(1858-1913)

くらべる京都 岡部敬史・文 山出高士・写真 好評シリーズ最新刊。テーマは「京都」。くらべて見つける京都の魅力!

勉強が苦手な高校生・社会人が合格する方法 松山祐己 受験生の9割が知らないといわれる 合格のコツをつかめば、看履専門に大逆転合格!

もっと楽しめる物理問題200選 Part I 力と運動の100問 Part II 熱・光・電磁気の100問

保育園・幼稚園 ちよっと気になる子 中川信子 子どもの心をつかむ

にありながら、自然科学や民俗文化の研究にも業績のあるJ・F・キャンベルが一八七四年から世界一周旅行に出発し、日本にも三ヶ月間滞在、その経験を『世界周遊記録』(二八七〇)として発表していった。その書物の影響により、パードの関心は東洋に移り、アジア地域への旅行を構想するようになった。

そして偶然にも、キャンベルが日本を旅行したときに世話になった、日本政府の工部省御雇外国人として国土測量や気象観測を指導していたC・A・マクヴェイン夫妻が帰国し、エディンバラに滞在していた。そこでパードは頻りに夫婦を訪問し、日本の情報を収集します。キャンベルは女性が一人で東洋を旅行することには反対しましたが、マクヴェインは日本の知人や友人を紹介するなどして後押ししてくれました。

すでに四七歳であったパードは決心し、一八七八年四月にイギリスから大西洋を横断、アメリカ大陸も横断してサンフランシスコから汽船で上海に到着、そこから汽船「シティ・オブ・トキーヨ」に乗船して一八日間、横浜から鉄道で新橋まで移動し、イギリス領事館に滞在します。そこでは日・パリクス駐日公使、後年、駐日公使

になるE・サトウ、工部大学校教頭のH・ダイアーなどに出会っています。

北東日本へ出発

早速、旅行の準備を開始し、最初に通訳を選定します。横濱で三人の候補と面談し、決定しようとしたときにもう一人が登場し、パードの英語を理解できるという理由で、その伊藤鶴吉を毎月二ドルで雇用することにします。伊藤は横濱で英語を勉強し、パード以外にもアメリカの大実業家E・H・ハリマン、日本で多数の植物を採集したイギリスの植物学者C・マリーズ、世界一周旅行をしたフランスのH・クラフトなどの通訳をした人物です(図3)。

一八七八年六月一日、最初に日光を目指して出発します。日光からは江戸時代に会津藩主保正之が整備した下野街道(日光街道)を通行して会津若松に到着、そこから西向きに方向転換して越後街道(会津街道)を利用して日本海側の新潟に到着(図4)、そこから再び經由、羽州街道を北上して山形、村山、新庄、金山、横手、大曲を經由して七月二日に秋田に到着、そして八月七日に青森に到着しました(図5)。

点から小舟で内浦湾を横断して室蘭に到着、太平洋岸を進行してアイヌ民族の集落のある平取まで旅行します(図6)。ここは白老とともにアイヌ民族が現在まで伝統的生活を維持している場所です。平取は陸路で函館へ帰還し、九月十四日に横濱まで汽船で移動し、旅行の前半を終了しています。

日本を克明に紹介した名著

この旅行の記録は『日本奥地紀行』として一八八〇年に刊行されていますが、上記で紹介した東京から蝦夷までの旅行が前半、関西地方や伊勢を訪問した記録が後半になっています。前半だけでも翻訳で約五〇〇ページにもなる大作で、克明な文章と見事な自身の素描で道中が記録されています。内容はパードの性格を反映して当時の日本の感心する側面と問題の側面が率直に執筆されています。以下に双方の一部を紹介いたします。

まず日本の美点として「女性が一人で異国の服装で旅行すれば侮辱され、法外な値段を要求されるが、ここでは一度として無礼なことに会わなかった」「馬用の皮帯が途中でなくなつたとき、馬子は暗闇を一里も引返して発見し、御礼を差出したところ、貴女を無事に明日の宿場まで引渡すことが自分の役目だと受取を拒否した」「これは

子供を可愛がる人々は世界にいないだけではなく、他人の子供も十分に世話をしていゝ」その反対の印象は「家屋は貧困で荒廃しており、子供たちも小汚く、女性は過酷な労働のために体格も均整がとれていないはいえない」「身体も衣服も家屋も善悪がつかないで、この人々は不潔です」「人々は着物を洗濯することはなく、その着物のままで木炭や煙草の臭気のある部屋で家族全員が睡眠する」。このように表現されている、我々には不慣れですが、当時の世界の先端の国家からの旅人の視点としては正直な見解かもしれません。

この日本旅行をした年末には香港に出发し、マレー半島、エジプトを經由してイギリスに帰国しますが、その翌年の六月に唯一の家族である妹ヘンリエッタが病死し、その苦悩から脱出する気持もあつたが、長年、パードの医師であつたJ・ビショップ博士と結婚します。その夫もパードが五五歳になつた一八八六年に病死してしまいました。そこでパードは一八八九年にイソンドに旅行し、現地に亡夫を記念する病院と愛妹を記念する病院を建設します。

それ以後、ラホール、バグダード、翌年にはテヘラン、コンスタンチノープルも訪問し、年

末に帰国しました。それでも旅行への情熱は衰えず、一八九四年には日本を經由して朝鮮、満州、天津、北京を旅行してから、しばらく日本に滞在し、さらに上海、朝鮮を旅行し、一八九六年末に帰国しました。この生涯の旅人ともいふべき女性も、まだ旅行が安全でも便利でもなかった時代に三〇冊近い旅行記を出版し、一九〇四年に七二歳で永眠しました。



つきお よしお

1942年生まれ。1965年東京大学工学部卒業。工学博士。名古屋大学教授、東京大学教授を経て東京大学名誉教授。2002、03年総務省総務審議官。これまでコンピュータ・グラフィックス、人工知能、仮想現実、メディア政策などを研究。全国各地でカヌーとクロスカントリースキーをしなが、知床半島、羊蹄山麓、釧路湿原、白馬仰山、富川清流、瀬戸内海などを中心に、地域の有志とともに環境保護や地域計画に取り組む。主要著書に『日本百年の転換戦略』(講談社)、『縮小文明の展望』(東京大学出版会)、『地球共生』(講談社)、『地球の救い方』、『水の話』(遊遊社)、『100年先を読む』(モラルジイ研究所)、『先住民族の叢書』(遊遊社)、『誰も言わなかった一本当は恐いビッグデータとサイバー戦争のカラクリ』(アスコム)、『日本が世界地図から消滅しないための戦略』(致知出版社)、『幸福実感社会への転進』(モラルジイ研究所)、『転換日本 地域創成の展望』(東京大学出版会) など。最新刊は『清々しき人々』(遊遊社)。

井上正鐵門中・禊教の成立と展開

萩原 稔

慎食・調息・信心の教え
飽食と飢饉が併存した幕末の天保期に、江戸で慎食と調息の行法で自立的な生き方を説いた井上正鐵(一七九〇-一八四三)と、その後継者たちをめぐる歴史と研究。A5判・上製本/本体7000円十税

食を拒む・食に溺れる心II

香山雪彦
生きづらさと依存からの回復
摂食障害(拒食症・過食症)から自分に合った「回復の道」を探している人のために、食にとられてしまった人たちとともに歩いてきた精神科医が伝える。四六判・上製本/本体2000円十税

地面の底がぬけたんです

藤本とし
ある女性の知恵の73年史
あるハンセン病患者の苦難の生涯。想像を絶する病苦との闘いの中から人間に対する深い洞察。ユーモラスともいえる明るい筆致で生に対する教訓を示す。[増刷出版]四六判・上製本/本体2000円十税

地面の底がぬけたんです
ある女性の知恵の73年史
あるハンセン病患者の苦難の生涯。想像を絶する病苦との闘いの中から人間に対する深い洞察。ユーモラスともいえる明るい筆致で生に対する教訓を示す。[増刷出版]四六判・上製本/本体2000円十税

16歳のデモクラシー
佐藤優
受験勉強で身につけるリベラルアーツ
高校での勉強は、人生に役立つ教養だ
インテリジェンスの養育が高校生たちに呼びかけ、古典的名著R・ニーバー『光の子と闇の子』をテキストに、民主主義の本質を探る世界レベルの教養ゼミ。フアシズムに対抗しうる知の力とは。1600円十税

SAKURA MOOK 82
森の生活図集
スズキサトルの
ブッシュクラフトスキルワークブック
我々人間が本来会得していた自然界での知恵や技術を、絵本作家として著名なスズキサトル氏が軽妙なイラストと文章で解説。「ブッシュクラフトスキル」を中心に、古来より伝わる技法や道具、野外生活を営むうえでのコツや知識など人間の英知を完全収録。
A5判 144ページ 定価1600円十税
笠倉出版社 東京都台東区東上野2-7-3 笠倉ビル
0120-984-164(営業)/ブックサービス0120-29-9625



Figure 4: 新潟の光景
Figure 5: 日本奥地紀行の経路
Figure 6: 平取のアイヌ集落